

小学校体育・道徳融合授業マナーキッズショートテニス教室司会進行要領

- (0:15) **事前準備 ネット、ラケット、ボールを設置。横断幕の設置。**
(0:20) **地元指導者とのミーティング**
・趣旨説明(テニスをやりながら、正しいお辞儀・挨拶の仕方を学ぶことを目的)
・手順説明
・小笠原流礼法指導者またはマナーキッズ講師から地元指導者に対し、正しいお辞儀・挨拶の仕方を指導
・コート毎の挨拶、プレーの際の挨拶を練習する

全校生徒正しいお辞儀・挨拶の仕方を学ぶ

- (0:01) 校長挨拶 学校側が校長を紹介。
(0:07) 小笠原流礼法指導者またはマナーキッズ講師による正しいお辞儀・挨拶の仕方を指導
マナーキッズテニスを体験する児童以外は教室に戻る。

マナーキッズショートテニス教室

- 全員で行う
開講式 生徒は、1番コートから、ラインに沿って一列に並び、指導者は生徒の前に並び、
(0:02) 児童から自己紹介 まずマナーキッズ講師が行い、児童に練習させる。「名前」を言って「よろしく
お願いします。」
代表2名が行う。各コートで全員が行う。
指導者紹介(礼法指導者、派遣コーチ、地元コーチの順番で紹介、地元コーチは所属団体で紹介。)
各コートに移る。
各コートで行う
(0:06) 1. 一列に並び練習、挨拶の練習(コート1面に児童約10名:指導者2名以上)
一列に並び練習
児童をラインの手前に沿って横一列に並べる。ネットを挟んで指導者も並び、児童、指導者ともラケットは持たない。
真ん中の児童を起点に、間を空け過ぎず詰め過ぎず、等間隔で並ばせる。
始めが一番大事でありキチンとさせる。児童は始めの雰囲気、教室の雰囲気を察する。
挨拶とお辞儀の指導で教わった“きをつけ”の姿勢をさせる。姿勢が悪ければ注意する
挨拶の練習
一番右の児童を代表者に指名する。マナーキッズ講師の「ハイ」の合図で全コート一斉に行う。
1番目の代表の「よろしくお願いします」の後、全員で「よろしくお願いします」と言い、全員がお辞儀をして、指導者の目を見る。
始めの内はバラバラで揃わないので何回かやり直しをする。
指導者は、テニスの先生でなく“マナーの先生”ですのでキチンと出来ていない生徒に注意する。
児童自己紹介
児童にラケットを渡し、プレーの際の挨拶 ラケットを左腕に抱えて、「よろしくお願いします」「ありがとうございました」
ラケットを音のさせないようにネットの前に置かせる。
二番目の代表の「ありがとうございました」の後、全員で「ありがとうございました」と言い、全員でお辞儀して、指導者の目を見る。
(0:02) 準備体操
(0:05) 児童を中央付近のコートの周りに座らせて、ボレーのデモンストレーションを行う。
児童役から「よろしくお願いします」。指導者役「よろしくお願いします」
フォア4球、バック4球、交互4球、ボレーボレーの順でデモを行う。
注意事項を説明する。
・プレーを待っている時は、ラケットを抱っこする。
・ボレーの時は、プレーヤーから少し下がって待つ。
・グラウンドストローク、スマッシュ、サーブの時は、壁にくっつくぐらい下がって待つ。
・プレーヤーと待っている生徒の間を空ける。
・休憩は、5分程度で水分補給をする。
児童を各コートに行かせる。
2. テニス教室(コート半分、生徒約5名:指導者1名)
挨拶とお辞儀の指導 コート毎の挨拶の練習 進行係の「ハイ」を合図で代表が「よろしくお願いま

す」と言い、全員が「よろしくお願いします」と言ってお辞儀をする。同じように「ありがとうございました」

(0:20) (1) ボレー

各コート縦2列になりプレーする。右のラインでやった人は左のラインに移動するようにクロスする。待っている生徒は、ラケットを抱っこして少し下がって待つ。

フォアボレー

ラケットは左手で体の横に持ち、生徒から挨拶する。

児童が「よろしくお願いします」と言ったら、指導者は間髪を入れずに生徒より大きな声で「よろしくお願いします」と言う。

フォアボレー 4球 <手で投げる>

児童が、「ありがとうございました」と言ったら、指導者は間髪を入れずに生徒より大きな声で「ありがとうございました」と言う。

2周位回す

バックボレー

児童挨拶「よろしくお願いします」、指導者挨拶「よろしくお願いします」

バックボレー 4球 <手で投げる>

児童挨拶「ありがとうございました」、指導者挨拶「ありがとうございました」

2周位回す

フォアボレーとバックボレー

児童挨拶「よろしくお願いします」、指導者挨拶「よろしくお願いします」

フォアボレー バックボレー フォアボレー バックボレー <手で投げる>

児童挨拶「ありがとうございました」、指導者挨拶「ありがとうございました」

2周位回す

ボレー・ボレー

児童挨拶「よろしくお願いします」、指導者挨拶「よろしくお願いします」

ボレー・ボレー <指導者もラケットで行う>

続けば適当に止める。続かない場合は4球位で止める

児童挨拶「ありがとうございました」、指導者挨拶「ありがとうございました」

2周位回す。

ボレー終了

終了の合図で、ボールを集めて、ネットの前に音を立てずにラケットを置く。

児童をラインの手前に沿って横一列に並べる。

3番目の代表の「ありがとうございました」の後、全員で「ありがとうございました」と言い、

全員がお辞儀をして、指導者の顔を見る。指導者挨拶「ありがとうございました」

(0:05) (2) 休憩

トイレ、水分補給のため5分位休憩する。

(0:20) (3) グラウンドストローク

デモンストレーション

児童を中央付近のコートに集めて、グラウンドストロークのデモンストレーションを行う。

各コートでグラウンドストローク

児童をラインの手前に沿って横一列に並べる。

4番目の代表の「よろしくお願いします」の後、全員で「よろしくお願いします」と言い、全員がお辞儀をして、指導者の顔を見る。

各コート2列になりプレーする。待っている生徒は、ラケットを抱っこして壁まで下がって待つ。

児童挨拶「よろしくお願いします」、指導者挨拶「よろしくお願いします」

グラウンドストロークのラリー <指導者もラケットでグラウンドストロークを行う>

<狭いコートの場合は、指導者はボレーで返球する>

続けば20本で打ち切り。続かない場合は4球位はチャンスを与える。ネットを1本以上(6年生は2本以上)超えたら合格。

右手で握手。児童挨拶「ありがとうございました」、児童の目線までしゃがんで指導者挨拶

児童は、記録係りの先生の所に行って、名前を言って何球出来たか報告する。

先生は、「次の目標は何本ですか?」と聞く。[頑張ってください]と言い目を見て握手する。指導者は、2回目から「目標は何本?」と聞く。

20本出来た児童には前後など難しい球にチャレンジさせる。

2周位回す。

グラウンドストローク終了

終了の合図で、ボールを集めて、ネットの前に音を立てずにラケットを置く。

児童をラインの手前に沿って横一列に並べる。
5番目の代表の「ありがとうございました」の後、全員で「ありがとうございました」と言い、全員がお辞儀をして、指導者の顔を見る。指導者挨拶「ありがとうございました」
児童を中央付近のコートに集めて、ラリー達成回数を確認し、頑張った本数をみんなで拍手する。
20本達成者起立・拍手、10～19本達成者起立・拍手、5～9本達成者起立・拍手、1～4本達成者起立・拍手。

(0:15) (4)スマッシュとサーブ

デモンストレーション

児童を中央付近のコートに集めて、スマッシュとサーブのデモンストレーションを行う。

各コートでスマッシュ

児童をラインの手前に沿って横一列に並べ、全員で挨拶する。

6番目の代表の「よろしくお願いします」の後、全員で「よろしくお願いします」と言い、全員がお辞儀をして、指導者の顔を見る。

各コート2列になりプレーする。待っている生徒は、ラケットを抱っこして壁まで下がって待つ。

児童挨拶「よろしくお願いします」、指導者挨拶「よろしくお願いします」

スマッシュ 1人4球 <手で投げる>

児童を横向きにし、万歳させて待たせ、打ちやすい所にボールを投げる。

児童挨拶「ありがとうございました」、指導者挨拶「ありがとうございました」

2周位回す。

サーブ(時間が無い場合は省略する)

児童挨拶「よろしくお願いします」、指導者挨拶「よろしくお願いします」

サーブ 1人2球 <対角線に入れる>

児童挨拶「ありがとうございました」、指導者挨拶「ありがとうございました」

スマッシュとサーブの終了

終了の合図で、ボールを集めて、ネットの前に音を立てずにラケットを置く。

児童をラインの手前に沿って横一列に並べる。

7番目の代表の「ありがとうございました」の後、全員で「ありがとうございました」と言い、

全員がお辞儀をして、指導者の顔を見る。指導者挨拶「ありがとうございました」

全員で行う

(0:05) 雑巾がけ

テニス教室終了で、生徒と指導者でラケット、ボール、ネットを壁の方に移動して片づける。

児童は一列になって床に雑巾がけをする。

整理体操

(0:10) 閉講式挨拶(マナーキッズ講師) 1番コートから縦一列に並び、指導者は、1番コートから児童の前に並び、

文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦を次の通り紹介する。

「マナーキッズテニスプロジェクトは文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦を行っております。

本年は 月、日 で開催します。学年別男女別の単2、複1の団体戦です。

その中から、試合結果だけではなく、マナー、感想文、マナーキッズ大使をアメリカのサマーキャンプに派遣します。皆様も挑戦して下さい。

返事の練習をする。「ハイ」と言ったら「ハイ」と言う。時間の都合上、代表の方2名に修了証書を渡す。

修了証書授与(校長から代表2名)

授与の仕方 右手で修了証書の右部中央で受ける。次に左手で左部中央で受ける。そのまま、心を下げる。修了証書を左手で受け、「ありがとうございました」を言ってから、笑顔で校長先生の目を見て握手する。

全員お礼の挨拶

代表の「ありがとうございました」の後、全員で「ありがとうございました」と言い、全員がお辞儀をして、指導者の顔を見る。

児童から指導者1人1人にお礼の挨拶(児童は各コート2～3名の指導者に一人ずつお礼の挨拶)

指導者一人一人に、正しく立って、お辞儀をし、「ありがとうございました」を言ってから握手する。

握手の際は、相手の目をいい顔で見る。

(0:05) マナーキッズショートテニス教室終了後のミーティング

地元指導者に対するお礼。

今後の協力を依頼。

委嘱状手渡し。

(0:15) 後片付け ネット、ラケット、ボールを返却。横断幕の返却。

